

2022年3月8日

組合員の皆さんへ

子どもたちのために、日々、教育活動にご尽力されていることに心から敬意と感謝を申し上げます。新型コロナウイルス感染症の対応のなか、年度末の締めくくりに大変な日々を過ごされていることと思います。

2月24日、ロシアはウクライナに軍事侵攻を開始しました。被害はウクライナ全土に広がり、軍事施設への攻撃にとどまらず、多くの民間人の犠牲者も出ており、幼い子どもの尊い命まで脅かされています。

ウクライナに暮らすすべての人、特に子どもたちが1日も早く笑顔で生活できる日常を取り戻すことを切に願います。

軍事的行為はいかなる理由があろうとも、許すことはできません。日教組とともに、今回のロシア、プーチン政権のウクライナ侵攻に対して強く抗議し、即時撤退とともに戦禍がこれ以上拡大しないよう、ロシア政府に平和的手段による問題解決を望んでいきます。

私たち千教組は、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンのもと、平和教育の推進をすすめてきました。

今こそ、命の大切さ、相手を思いやる気持ちなど、教職員一人ひとりの言葉で、平和への想いを子どもたちに伝えていくことが必要ではないでしょうか。

私たち自身が「平和とは何か」について考え、話し合い、行動していくことが、平和への第一歩と考え、今回皆さんに伝えさせていただきました。

千葉県教職員組合 佐藤喜保